

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
 ご利用いただきたくご案内いたします。
 当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を
 重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほ
 どよろしくお願い申し上げます。

敬白

記

■ 実施日 2018年2月9日（金）ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目 コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
5605 8	25ヒドロキシビタミンD 3G065-0000-023-052	血清 0.5	S09 ↓ A00 (X)	冷蔵	2~6	400 ※3	CLEIA	ビタミンD欠乏 20以下 (ng/mL)	&ヨ

※3：生化学的検査（I）判断料

● 25ヒドロキシビタミンD

ビタミンD欠乏性くる病もしくはビタミンD欠乏性骨軟化症の診断補助に有用です。

.....

ビタミンDは骨代謝やミネラル代謝に重要な役割を担っており、肝臓で水酸化され安定な25ヒドロキシビタミンDに変換されます。

ビタミンDが不足すると小腸でのカルシウム吸収が不十分となり、小児では「くる病」、成人では「骨軟化症」など、骨の石灰化障害を引き起こします。

25ヒドロキシビタミンDの測定は、体内におけるビタミンDの充足状態の指標となり、低値の場合はビタミンD欠乏状態を示します。

▼ 疾患との関連

ビタミンD欠乏性くる病
ビタミンD欠乏性骨軟化症

▼ 関連する主な検査項目

副甲状腺ホルモン、カルシウム
無機リン、FGF-23

▼ 検査要項

検査項目名	25ヒドロキシビタミンD
項目コードNo.	5605 8
検体量	血清 0.5 mL
容器	S09→A00 (X) ポリスピッツ
保存方法	冷蔵保存してください
所要日数	2~6 日
検査方法	CLEIA
基準値	ビタミンD欠乏 20以下 (ng/mL)
検査実施料	400点 (「D007」血液化学検査「57」)
判断料	144点(生化学的検査(I)判断料)
備考	&ヨ

● 参考文献

日本小児内分泌学会：ビタミンD欠乏性くる病・低カルシウム血症の診断の手引き：2013。（臨床的意義参考文献）